

公共事業新規箇所評価調書

(様式4)

評価確定日(令和6年 1月24日)

事業コード	R5-建-新-04	区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	河川改修事業	部局課室名	建設部河川砂防課
事業種別	河川改修	班 名	河川・ダム・海岸チーム(tel)018-860-2514
路線名等	二級河川 馬場目川 外2河川	担当課長名	河川砂防課長 木次谷 英成
箇所名	南秋田郡五城目町久保 外	担当者名	チームリーダー 玉尾 毅
プランとの 関連	戦 略	防災減災・交通基盤	
	目指す姿	強靱な県土の実現と防災力の強化	
	施策の方向性	頻発化・激甚化する水災害に備えた流域治水対策の推進	

1. 事業の概要

事業期間	R6～ R15(10年)	総事業費	45.0億円	国庫補助率	1/2	
事業規模	馬場目川計画延長L=4,300m 計画高水流量Q=400m <sup>3</sup> /s(1/50)、支川富津内川L=2,700m、Q=290m <sup>3</sup> /s(1/20)、支川内川川L=800m、Q=120m <sup>3</sup> /s(1/20)					
事業の立案に至る背景	馬場目川流域では、度重なる洪水被害に対して局部的な改良事業を実施してきた。しかし、令和4年8月及び令和5年7月と2年続けて広範囲に渡る洪水が発生し、浸水家屋数も過去最大級の被害となった。同規模の洪水から家屋浸水を解消するため、本支川一体となった河川整備に着手する。					
事業目的	馬場目川沿川の五城目町久保地区、富津内川沿川の下山内地区、内川川沿川の湯ノ又地区など、令和5年7月豪雨により被害を受けた地区において、同規模の洪水から家屋浸水被害を解消するため、河川改修事業を行う。					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		全 体	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度以降
	事業費	4,500,000	300,000	985,000	905,000	2,310,000
	経費	3,387,000	0	573,000	680,000	2,134,000
	内訳	473,000	75,000	167,000	150,000	81,000
	財源	640,000	225,000	245,000	75,000	95,000
	内訳	2,250,000	150,000	492,500	452,500	1,155,000
	内訳	2,024,800	135,000	443,200	407,200	1,039,400
事業内容	225,200	15,000	49,300	45,300	115,600	
事業内容		詳細設計 地質調査 用地測量 用地補償	河道掘削 築堤護岸工 構造物設計 用地補償	河道掘削 築堤護岸工 橋梁架替 構造物設計 用地補償		
調査経緯	令和4年度 測量、現況流下能力調査、洪水量評価、河川概略検討 令和5年度 洪水量評価、河川概略検討					
上位計画での位置付け	新秋田元気創造プランにおいて、着実かつ継続的に推進する基本政策「防災減災・交通基盤」の施策の方向性③「頻発化・激甚化する水災害に備えた流域治水対策の推進」に位置付けられている。					
関連プロジェクト等	馬場目川水系 水災害対策プロジェクト					
事業を取り巻く情勢の変化	馬場目川流域では、度重なる洪水被害に対して局部的な改良事業を実施してきた。しかし、令和4年8月及び令和5年7月と2年続けて広範囲に渡る洪水が発生し、浸水家屋数も過去最大級の被害となった。					
事業効果把握の手法	指標名	河川整備率				
	指標式	改修延長/要改修延長				
	指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	
	目標値 a	46.6%(R4末目標)		データ等の出典	河川砂防課調べ	
	実績値 b	46.7%(R4末実績)		把握の時期	令和5年3月	
達成率 b/a	100.2%					

2. 所管課の1次評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	令和5年7月に家屋浸水84戸、浸水面積389haの被害が発生しており、事業の必要性は高い。 令和6年夏の馬場目圏域河川整備計画変更を目標に、関係機関と協議を進めている。	38点
緊 急 性	改修目標流量に対する現況流下能力は35.5%と低いことに加え、平成30年、令和4年、令和5年と立て続けに被災している。また、重要水防区域にも位置付けられており、事業の緊急性は高い。	18点
有 効 性	令和5年7月豪雨と同規模の洪水に対して家屋浸水被害が解消される見込みであり、災害防止効果が大きく発現する。	7点
効 率 性	事業の費用便益比が1.11であり、事業の投資効果は高い。 また、河道掘削残土の築堤盛土材への流用、再生資材の活用等によりコスト削減に努める。	8点
熟 度	法面緑化の実施、排出ガス対策型車輛や機械の採用、現況河道を極力活用することにより、環境保全に配慮した計画としている。 また、令和5年10月と11月に開催した富津内川および内川川の地元説明会では理解が概ね得られており、同年10月には地元の五城目町から馬場目川も含んだ3河川の河川改修事業早期完成に関する要望書が提出されている。	13点
判 定	ランク ( ●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ )	84点
	判定ランクⅠであり、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきである。	
総合評価	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
※ 評価システム上、記載欄が残ります。	

4. 財政課長意見

意見内容	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
※ 評価システム上、記載欄が残ります。	

5. 最終評価 (新規箇所選定会議)

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

計画的な実施に努める。
-------------

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所評価  
適用基準名 河川改修事業

事業コード  
箇所名

(R5-建-新-04)  
(二級河川馬場目川 外2河川  
南秋田郡五城目町)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	想定氾濫区域内の状況					
	浸水戸数	50戸以上	10	10	馬場目川 24戸, 富津内川 42戸 内川川 26戸, 合計 92戸	
		10戸以上49戸以下	7			
		9戸以下	3			
	浸水面積	60ha以上	10	10	馬場目川 95ha, 富津内川 64ha 内川川 55ha, 合計 214ha	
		10ha以上60ha未満	7			
		10ha未満	3			
	重要な公共施設	3施設以上	5	5	国道285号 主要地方道 秋田八郎潟線 主要地方道 能代五城目線	
		1施設以上	3			
		なし	0			
	過去の災害実績					
	最大浸水戸数	30戸以上	5	5	馬場目川 36戸, 富津内川 26戸 内川川 22戸, 合計 84戸	
		5戸以上29戸以下	3			
		4戸以下	1			
	浸水面積	40ha以上	5	5	馬場目川199ha, 富津内川131ha 内川川 59ha, 合計 389ha	
10ha以上40ha未満		3				
10ha未満		1				
整備計画の策定						
関係者、関係機関との調整	整備計画策定済み	5	3	馬場目圏域河川整備計画 (計画変更協議中)		
	協議中であるが特段問題ない	3				
	策定に着手していないが予定がある	1				
	予定なし	0				
計		40	38			
緊急性	災害発生の危険度					
	改修目標流量に対する現況流下能力	40%未満	10	10	{馬場目川30% (120/400)*4.3km+ 富津内川40% (115/290)*2.7km+ 内川川58% (70/120)*0.7km} /7.8km = 35.5%	
		40%以上60%未満	7			
		60%以上	3			
	過去の被災頻度	3回以上	5	5	H30.5.20 R4.8.13 R5.7.15 等	
		1回以上	3			
0回		0				
秋田県水防計画						
重要水防地域	評定基準区分A	5	3	馬場目川、富津内川、内川川		
	評定基準区分B	3				
計		20	18			
有効性	河川整備の有効性					
	安全度	災害防止効果等が発現する	7	7	家屋浸水被害が解消される	
		災害防止効果等は現状と変わらない	0			
	親水性	安全に川と親しむ場として利用が見込まれる	5	0		
		親水性は現状と変わらない	0			
	地域開発状況	都市計画区域の存する地域	3	0		
地域開発の計画がある		1				
なし		0				
計		15	7			
効率性	事業の投資効果					
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	4762.6/4285.3=1.11	
		1.0未満	0			
	事業実施コストの削減	該当項目数	3項目以上	5	3	河道掘削残土の築堤盛土材への流用, 再生砕石の活用
		2項目	3			
1項目		1				
なし		0				
計		10	8			
熟度	環境との調和への配慮状況					
	環境保全への配慮 (秋田県公共事業環境配慮システムでの 環境配慮事項)	3事項以上	5	5	法面緑化の実施 排出ガス対策型車輛や機械の 採用 現況河道を極力活用した計画	
		1事項以上	3			
		環境配慮事項がない	0			
	地元の状況					
	地元の協力体制	事業への理解が得られている	5	3	富津内川説明会 R5.10, R5.11 内川川説明会 R5.10, R5.11	
		事業への理解が概ね得られている	3			
事業への理解が得られていない		0				
関係自治体の協力体制	事業に協力的であり、要望書提出済み	5	5	要望書提出 R5.10		
	事業に協力的であるが、要望書は未提出	3				
計		15	13			
合計			100	84		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		